

**木村秀子** 女子教育家。早熟の天才で、医者試験と東大選科とも女性嚆矢、東京女子専門学校を設立直後、夭折した。

きむらひでこ

戊辰戦争終・1869 = 奈良県吉野に生まれる。

**明治6年政変** 1873 = 4歳：

初の民間工場1875 = 6歳：姉や妹たち四人と上京。塾に入り和漢の書を学ぶ。

大久保暗殺・1878 = **9歳**：\_医学の個人教授(加賀美基・高橋泉松)をつけ、

沖縄県編入・1879 = 10歳：\_東京医学校に入学。

**明治14年政変**1881 = 12歳：

\_医学全科を修了後、女性の社会的地位の向上を目ざし日英独仏の語学を習得し、

秩父事件・・1884 = 15歳：\_医術開業試験を内務省に出願、

内閣発足・・1885 = 16歳：\*自ら文部大臣に直接訴え、はじめて帝国大学の選科に入学を許され、医術開業試験にも及第。

国民之友始・1887 = **18歳**：\*女性の社会的地位の向上を図ることを目的に、東京小石川に東京女子専門学校を設立、教頭としてドイツ語・英語を教え、また風俗の改良を訴えて男女交際の会をつくった。さらに女子教育書の翻訳をはじめたが、二、三の書を脱稿しただけで、没した。翌年「交際論」が出版された。